



W. マイナビ
TOUR de 2023 九州
KYUSHU

FUKUOKA, KUMAMOTO, OITA
October 6th - 9th 2023

大会報告書(速報版)

主催者あいさつ

九州各地を駆け抜ける新たなステージレース、マイナビ ツール・ド・九州2023は皆様のご支援をもちまして盛況下に開催することができました。ひとえに本大会の開催に当たり多大なご協力をいただきました、開催地の関係者及び住民の皆様、国内選手、競技役員の皆様、協賛、ご協力いただいた企業、団体の皆様のご支援のお陰であり、あらためて御礼申し上げます。

当大会は、ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承、近年九州を襲った大地震や豪雨災害からの復興のシンボルイベントとして、九州の経済界と行政がともに協力、連携しながら大会開催の準備を進めてまいりました。記念すべき第1回大会は、UCI コンチネンタル登録の国内 10 チーム、海外からは、ワールドチーム1チーム、プロチーム1チームを含む 8チームを招聘し、合計18チーム・108名の参加選手により、小倉城クリテリウム、福岡ステージ、熊本阿蘇ステージ、大分ステージ、総走行距離 約 426km で実施し大過なく終了することができました。

4日間を通じ、沿道では多くの人々が声援を送るとともに、3ステージの会場やパブリックビューイング会場、ライブストリーミング配信を通じて多くの皆様にご視聴いただき応援いただくことができました。

当大会は単なるスポーツイベントにとどまらず、九州ならではの大自然や文化を国内外に発信し、また、カーボンニュートラルを意識した環境負荷が少ない運営や、自然環境への配慮、九州の豊富な水資源の活用と保護等、持続可能な九州の未来のためにSDGs活動を実現する大会です。サイクルレースの域を脱した未来志向のイベントを目指してまいりましたが、まだまだ道半ばであると考えております。

大会の更なる発展と九州が一体となって地域の価値を共創する取組みに引き続きご協力賜りたく、何とぞ宜しくお願いいたします。

一般社団法人九州経済連合会 会長
ツール・ド・九州2023実行委員会 会長

倉富 純男

開催概要

大会名称	マイナビ ツール・ド・九州2023
主催	ツール・ド・九州2023実行委員会、一般社団法人ツール・ド・九州
後援	自転車活用推進議員連盟、国土交通省自転車活用推進本部、観光庁、総務省、スポーツ庁、経済産業省、九州地方環境事務所
日程	2023年10月6日（金）～ 10月9日（月・祝）
開催地	3県（福岡県・熊本県・大分県） 18市町村
レース形式	転戦型ステージレース（ロード）及びクリテリウム（小周回サーキットレース）
レースカテゴリ	UCIアジアツアー 2.1（ステージレース クラス1）
	10/6（金） クリテリウム 小倉城周回 約45km 10/7（土） 第1ステージ 福岡（北九州～大牟田）約144km 10/8（土） 第2ステージ 熊本阿蘇（南小国～南阿蘇）約108km 10/9（月・祝） 第3ステージ 大分（日田～日田）約129km
コース	全走行距離426km 獲得標高8,211m
参加者	18チーム（国内10・海外8） 選手104人（17ヶ国）・スタッフ54人
スタッフ	約7,000人
使用車両	4輪94台（FCEV8台・EV4台）2輪35台
公式URL	https://www.tourdekyushu.asia/ 


観客（速報値）：88,300人（小倉城16,000人/福岡33,300人/熊本阿蘇12,000人/大分27,000人）

パブリックビューイング：

福岡市（ソラリアステージ（3日間））	25,000人
北九州市（チャチャタウン小倉（4日間）・リバーウォーク北九州（2日間））	計13,540人
熊本市（花畑広場）	11,250人
阿蘇市（道の駅阿蘇・門前町広場・熊本NOK）	5,230人

YouTube：26.7万回

総合順位







個人総合時間賞	ポイント賞	山岳賞	新人賞	チーム賞
 Andrey ZEITS [AST]	 Naoki KOJIMA [BGT]	 Benjami PRADES REVERTE [JCL]	 William EAVES [ARA]	 EF EDUCATION - NIPPO DEVELOPMENT TEAM [EFD]
				



1 Stage 福岡ステージ

2 Stage 熊本阿蘇ステージ

3 Stage 大分ステージ

ステージ優勝	ベストジャパニーズ賞	ステージ優勝	ベストジャパニーズ賞	ステージ優勝	ベストジャパニーズ賞
 Naoki KOJIMA [BGT]	 Naoki KOJIMA [BGT]	 Andrey ZEITS [AST]	 Yuhi TODOME [EFD]	 Declan TREZISE [ARA]	 Hayato OKAMOTO [AIS]

0 Stage 小倉城クリテリウム

優勝	ベストジャパニーズ賞	5周回ラップ賞	10周回ラップ賞	15周回ラップ賞	20周回ラップ賞
 Naoki KOJIMA [BGT]	 Naoki KOJIMA [BGT]	 Benjami PRADES REVERTE [JCL]	 Daiki MAGOSAKI [KIN]	 Atsushi OKA [JCL]	 Atsushi OKA [JCL]

○コース紹介

2023.10

06 FRI.

START.13:30

Criterion

KOKURA CASTLE

小倉城クリテリウム 約45km



4日間・総距離約426kmの幕開け
風情ある石畳の路面を
突き進むクリテリウム



2023.10

07 SAT.

START.08:00

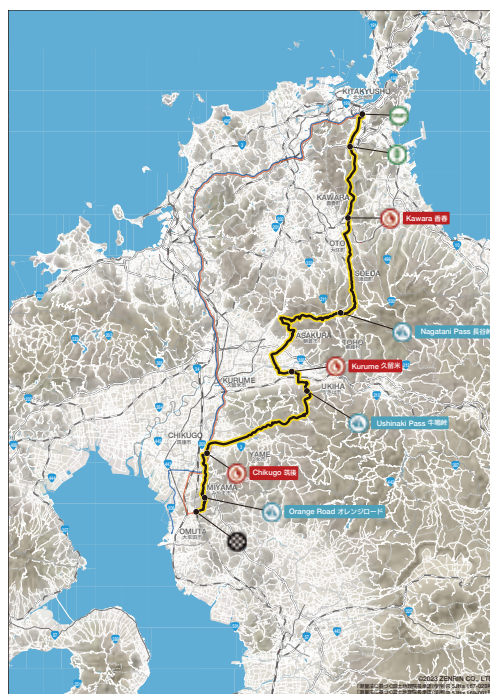
Stage 1

FUKUOKA

福岡 [北九州～大牟田] 144km



記念すべきステージレースの幕開け
日本百景・英彦山を超え、
レース後半はハイスピードダウンヒルに



2023.10

08 SUN.

START.09:00

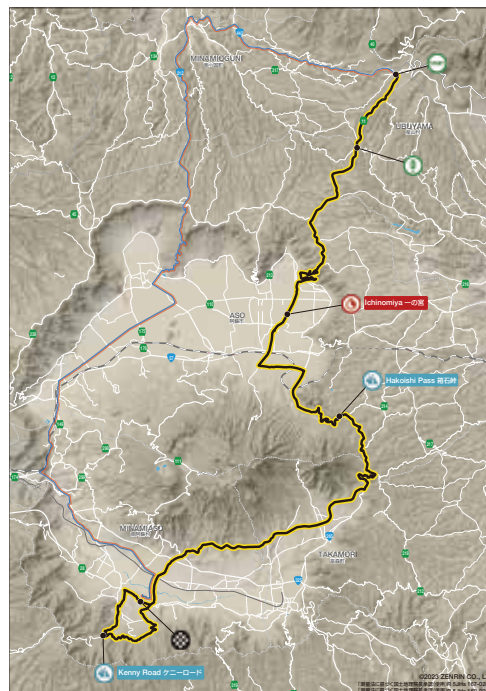
Stage 2

KUMAMOTO ASO

熊本阿蘇 [南小国～南阿蘇] **108km**



火の国の神々が祀られる阿蘇をゆく
震災や水害からの復興を世界へ
アピールするエモーショナルな1日



2023.10

09 MON.

START.11:30

Stage 3

OITA

大分 [日田～日田] **129km**



オートポリスから日田市街地まで
ハイスピードで進むか
最終コーナーからフィニッシュまでの
500mの直線が勝負を分ける



criterium KOKURA CASTLE

小倉城クリテリウム

2023年10月6日、小倉城クリテリウムが福岡県北九州市小倉城周辺特設コースで開催され、チームブリヂストンサイクリングの兒島直樹が勝利を挙げた。

1周1.79kmのコースを25周回、45kmで競われる小倉城クリテリウムは13:30に号砲が鳴らされた。初開催の大会を一目見ようと平日も関わらず沿道には多くの観客が詰めかけ、華やかな雰囲気と声援のなかで選手はスタートを切った。

序盤からアタックが飛び交う激しい展開となったが決定的な抜け出しは生まれず、5周回目のスプリントポイントをベンジャミ・プラデス・レヴェル



テ (JCL TEAM UKYO) が、10周回目を孫崎大樹 (キナンレーシングチーム) が、15周回目と20周回目を岡篤志 (JCL TEAM UKYO) がそれぞれ獲得。レース終盤にかけてチームブリヂストンサイクリングとボルトンエキイティース・ブラックスポークの2チームがメイン集団をコントロール。最終周回にかけて主導権を握ったチームブリヂストンサイクリングから兒島直樹が先着し優勝。2位にも同チームの窪木一茂が入るワンツーフィニッシュを達成した。

3位には世界トップカテゴリーとなるワールドチームのアスタナ・カザクスタンからエフゲニー・ギディッチが入っている。

Stage 1

FUKUOKA

福岡 [北九州～大牟田]

マイナビ ツール・ド・九州2023の第1ステージは、地元福岡県みやま市出身の兒島直樹 (チームブリヂストンサイクリング) が優勝。個人総合時間賞のリーダージャージに袖を通した。

競輪発祥の地、北九州メディアドームをスタートし新大牟田駅へと至る144kmのコースには、3つの中間スプリントポイントと3つの山岳ポイントが設定。香春の中間スプリントポイントは抜群のチームワークに支えられた兒島が先頭通過。その後ペースが落ち着いたメイン集団から横塚浩平 (VC福岡)、モハマド・ヌル・アイマン・モフド・ザリフ (トレンガヌ・ポリゴン・サイクリング・チーム) などが逃げ集団を形成し先頭を走る。

この日最初の山岳ポイントである長谷峠はモフド・ザリフが先頭通過。久



留米で迎えた2度目の中間スプリントポイントは横塚が先頭通過。1級山岳の牛鳴峠に入り、逃げ続けたモフド・ザリフは単独で山頂を通過したが、下りで集団に吸収された。

30名弱に絞られたメイン集団は、筑後に置かれたこの日最後の中間スプリントポイントへ。ダン・ガードナー (ボルトンエキイティース・ブラックスポーク) とケイン・リチャード (ARAスキップキャピタル) 等が飛び出すがこの日最後の山岳ポイントのオレンジロードで吸収。勝負は新大牟田駅前の25名でのスプリントに持ち込まれた。このスプリントを制したのが兒島直樹。前日の小倉城クリテリウムに続く2連勝を達成した。

Stage 2

KUMAMOTO ASO

熊本阿蘇 [南小国～南阿蘇]



熊本県に舞台を移す第2ステージ。瀬の本レストハウスから道の駅あそ望の郷くぎのまでの107.73kmで争われた。レース序盤に1級山岳の箱石峠を越えた後は、1級山岳のケニーロードを含む周回コースを5周してフィニッシュ。8日は終日の雨。序盤は集団で14.7km地点の一の宮の中間スプリントポイントへ。ここは個人総合時間賞のリーダージャージを着用する前日の優勝者、兒島直樹（チームプリヂェストンサイクリング）が先着。

26.8km地点の1級山岳、箱石峠では形成された逃げグループから横塚浩平（VC福岡）が先頭で通過。しかし直後に集団が逃げグループを吸収し、レースは一度振り出しへと戻った。

残り58km地点から周回コースへと入ると、急勾配の1級山岳ケニーロード

を経て、先頭は12名の精鋭選手たちに絞り込まれる。ライオン・カバナ（キナンレーシングチーム）が独走するも、4回目のケニーロードを通過後に集団に引き戻された。8名まで人数を減らした先頭グループの勝負が動いたのは最終周回のケニーロードの上り。ペースを上げたアンドレイ・ゼイツ（アスタナ・カザクスタン）に誰もついていくことはできず、先頭で山頂を通過。そのままフィニッシュラインへ独走し勝利を挙げた。

このステージ結果を受けてゼイツは個人総合賞首位となり、青のリーダージャージに袖を通した。山岳賞はベンジャミ・プラデス・レヴェルテ（JCL TEAM UKYO）が、新人賞は留目が新たに首位に立った。ポイント賞は兒島直樹が守っている。

Stage 3

OITA

大分 [日田～日田]



最終日となる第3ステージは、終盤にかけて形成された3名の逃げグループからデクラン・トレザイス（ARAスキップキャピタル）が優勝。アンドレイ・ゼイツ（アスタナ・カザクスタン）が個人総合時間賞を守りきり初代王者に輝いた。

大分ステージは、オートポリスから大原八幡宮までの129km。同サーキット内に設けられた中間スプリントポイントは、ポイント賞ジャージを着る兒島直樹（チームプリヂェストンサイクリング）が先頭で通過しポイントを積み上げる。

24km地点の4級山岳、上津江の登坂をきっかけに22名の選手が先行。この日最後の山岳ポイントとなる3級の天瀬（42.8km）を経て、ベンジャミン・ダイボール（ヴィクトワール広島）、ライオン・カバナ（キナンレーシングチーム）、デクラン・トレザイス（ARAスキップキャピタル）の3名が先行する。

アスタナ・カザクスタンがコントロールするメイン集団は2分ほどの差で追走する展開に。日田市街地の周回コースに入って、なおも上位3名は強力に逃げ続ける。人数を増やした追走集団からはアスタナに加え、JCL TEAM UKYOや宇都宮ブリッツェンが牽引に加わる場面も見られたが、前を行く3名を捉えることはできず、3名によるステージ優勝争いはトレザイスに軍配。カバナが2位に、ダイボールが2秒遅れの3位。その後8秒まで迫った追走集団でフィニッシュしたゼイツが個人総合時間賞での優勝を決めた。

最後までもつれたポイント賞争いは、兒島が守り切って初代ポイント賞の栄冠に。山岳賞はベンジャミ・プラデス・レヴェルテ（JCL TEAM UKYO）、新人賞は総合3位となったウィリアム・イーブス（ARAスキップキャピタル）が獲得した。



KOKURA CASTLE

小倉城クリテリウム







FUKUOKA

福岡 [北九州～大牟田]







KUMAMOTO ASO

熊本阿蘇 [南小国～南阿蘇]





W. マイナビ
TOUR de KYUSHU 2023 北九州



OITA

大分 [日田~日田]





PARTNERS [パートナー]

Diamond



Platinum

100年をつくる会社



Gold



Silver



Bronze



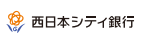
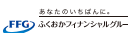
Communication

LINEヤフー コミュニケーションズ

Consulting



SUPPORTERS [サポーター]



トヨタ自動車株式会社 / トヨタ自動車九州株式会社 / 株式会社山口油屋福太郎 / 株式会社肥後銀行 / 三井不動産株式会社 / 学校法人福岡大学 / 株式会社北九州銀行 / 株式会社マトリックス / 株式会社オージーケーカプト / マヴィックジャパン株式会社 / 株式会社シマノ

株式会社テノ、ホールディングス / 株式会社ふくや / 株式会社タカギ / 株式会社福山コンサルタント / 福岡ひびき信用金庫 / 総合メディカル株式会社 / 福岡地所株式会社 / 金剛株式会社 / NEXCO 西日本 / 日本通運株式会社 / 川崎重工業株式会社 / 九州自動車リース株式会社 / 株式会社電通九州 / 福岡トヨタ自動車株式会社 / 福岡トヨペット株式会社 / トヨタカラー博多株式会社 / トヨタカラー福岡株式会社 / ネットトヨタ北九州株式会社 / ネットトヨタ西日本株式会社 / 熊本トヨタ自動車株式会社 / 熊本トヨペット株式会社 / ユナイテッドトヨタ熊本株式会社 / トヨタモビリティパーツ株式会社 / 鳥越製粉株式会社 / 株式会社ソラシディア / 住友商事九州株式会社 / Audi 北九州